

鏡の中にある如く (1961)

SASOM I EN SPEGEL
THROUGH A GLASS, DARKLY [米]

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1964/07/10
公開情報 昭映

【解説】

ベルイマンの信仰と人間の欲望を省察する一連の作品の中でも、最も深刻な、だからこそ見応えのある映画。まるで贅肉と言うものが無く、ことに後半の映像の重なりには息を呑む。孤島の別荘に保養に来た作家ダヴィッドは、精神に不安を持つ娘（H・アンデルソン）の危機的状況を知りながら、文学者としてその事すら冷静に受け止め、表現しなければ―という決意を日記に記す。が、それを盗み見した娘は絶望し、いよいよ発病してしまう。“悪魔に身体を侵される”と訴える娘はまだ年若い弟にすがりつく事に解決を求めるが……。深い孤独に囚われた西欧の近代的自我を、極限の愛を描くことで訴えながら、どこまでも冷静な筆致に恐れをなす程。姉弟が父たちの前でシェークスピアの寸劇を演じるシーンなど忘れ難い。白夜の光陰を捉えたS・ニクヴィストのカメラもまた神々しくすらある。

【クレジット】

監督	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
脚本	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist
出演	ハリエット・アンデルセン	Harriet Andersson
	マックス・フォン・シドー	Max Von Sydow
	グンナール・ビョルンストランド	Gunnar Bjornstrand
	ラーシュ・パッスコード	